

改善計画書

事業者名 (障害児入所施設 障害者支援施設 あかつき学園)

(平成26年12月25日作成)

事業者のコメント	<p>福祉サービス第三者評価結果書を受け、改善を求められる内容につきましては、早急に改善を行い、評価の高い点につきましても、現状維持ではなく、さらに内容の充実を図ることで、より利用者の満足度を高めることができるよう取り組んでまいります。評価の高い点の中には、「利用者の表情は明るく快活な印象を受けた」とありました。この点につきましては、私たちも大変嬉しく思いますし、今後の業務の励みにもなります。</p> <p>当学園は開設 45 周年を迎え、建物も建て替えの必要性が高くなっております。今回福祉サービス第三者評価を受審したことを、現在の支援だけでなく、今後の建て替え等にも活かしていきながら、利用者の皆様がより一層安心、安全に過ごせる環境作りを目指してまいります。</p>
----------	---

		課題・改善点	達成目標	期間	開始時期	達成時期	具体的改善策 (人・予算・情報・手順等)	担当
短期間で 完了	1	事業計画書の目標は中・長期的な考えのもとに作成されているが、法人としての将来像や施設の計画的な運営等の方向性を文書で示した、中・長期計画の策定が望まれる。	中・長期計画を策定する。	H27.1.1 ～ H27.3.31	H27.1.1	H27.3.31	中・長期計画を策定し、それに基づく平成 27 年度事業計画とともに理事会、評議員会へ提出し承認を得る。	施設長 主任
	2	食事、入浴、排泄等、支援内容ごとに標準的な実施方法をマニュアル化し、実施状況を確認	マニュアルを基に統一した支援を行う。統一した支援を行うことで、利用者が戸惑うことなく安心して過ごせ	H26.12.1 ～ H27.3.31	H26.12.1	H27.3.31	まずは項目ごとに標準的なマニュアルの作成を行い、実施状況確認については、統括主任を担当とし、定期的に確認を行う。ただし、利用者によって、マニュアルの内容も変わっ	主任

		認する仕組みづくりを行うこと。	るように配慮する。				てくる為、標準的なマニュアルの作成後、各個人用のマニュアルの作成を行う。	
	3	第三者評価受審など、職員参加による評価を実施され、改善課題や支援の内容を文章化することで課題がより明確になり利用者支援面における職員の自信と余裕が、今後の支援の改善に活かされることを期待する。	改善課題や支援内容の課題を明確にし、職員間で共通の意識を持つことで、支援の向上を図る。	H26.12.1 ～ H27.3.31	H26.12.1	H27.3.31	まずは、第三者評価での指摘事項等の内容をまとめ、職員に配布する。その後、研修会を実施し、内容について職員内で検討を行うことで、指摘事項の分析はもちろんのこと、新たな改善点の把握等を行う。	施設長 主任
中・長期間で 行うこと	1							
	2							
	3							
	4							
	5							
今後検討すること	1	築45年経過の建物を工夫しながら改善されているが、利用者のプライバシーの配慮等に構	建物の建て替え時には、利用者の快適な生活と、安全の確保が保てるように配慮・工夫を行う。		速やかに	速やかに	建て替え時の参考にする為、県内のみだけでなく、県外も含めて他施設等の視察を行う。また、施設内のみで検討をするのではなく、法人本部とともに検討を行い、客観的な意見	施設長 主任

		造上改善が困難な点も見られる。建て替え時には、利用者の快適な生活環境や安全性確保のための配慮・工夫が望まれる。					を取り入れる等意見が偏ることのないようにする。	
	2							
	3							
	4							
	5							